

孤独

中村明王

そこには、花火を観にきていた。
きっかけは覚えていない。

ただ、友人二人からはぐれた私は、
一人、喧騒の中で佇んでいた。

人の波に攫われながら、
どうにか連絡を取ろうと試みる。

メッセージ、

エラー。

着信、

不通。

不安に苛まれる私を他所に、
周囲の歓声がいつそう大きくなり、
私はなにかに包まれる。

瞬間、

炸裂音。

一瞬の爆発の後に、世界は音を失った。